

霧島山（えびの高原いおうやま（硫黄山）周辺）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

＜噴火予報（活火山であることに留意）が継続＞

えびの高原（硫黄山）周辺では、昨日（19日）15時46分に継続時間約3分30秒の振幅の小さな火山性微動が発生しました。火山性微動の発生に伴い、わずかな傾斜変動を観測しました。この付近で火山性微動が発生したのは2015年9月2日以来です。

遠望観測では、噴気等は確認されていません。本日（20日）実施した現地調査では、硫黄山及びその周辺では噴気は認められず、赤外熱映像装置¹⁾による観測でも熱異常域は認められていません。

以上のように、えびの高原（硫黄山）周辺の火山活動に更なる活発化は認められませんでした。活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

○活動概況

・地震や微動の発生状況（図1、図3、図4）

えびの高原（硫黄山）周辺では、昨日15時46分頃に継続時間が約3分30秒の火山性微動が発生しました。その後、火山性微動は観測されていません。この周辺で火山性微動が発生したのは2015年9月2日以来です。

火山性地震は微動発生後に増加し、昨日は13回発生しました。火山性地震が1日あたり10回を超えたのは2015年7月26日以来です。本日は12時まで2回発生しています。

・地殻変動の状況（図2、図3）

火山性微動に伴って、硫黄山の北西方向がわずかに隆起するような変動が観測されました。その後、火山活動によると考えられる地殻変動は観測されていません。

・噴煙など表面現象の状況（図5、図6）

遠望カメラによる観測では、硫黄山周辺で噴気等は確認されていません。

本日実施した現地調査では、硫黄山及びその周辺では噴気は認められず、赤外熱映像装置による観測でも熱異常域は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

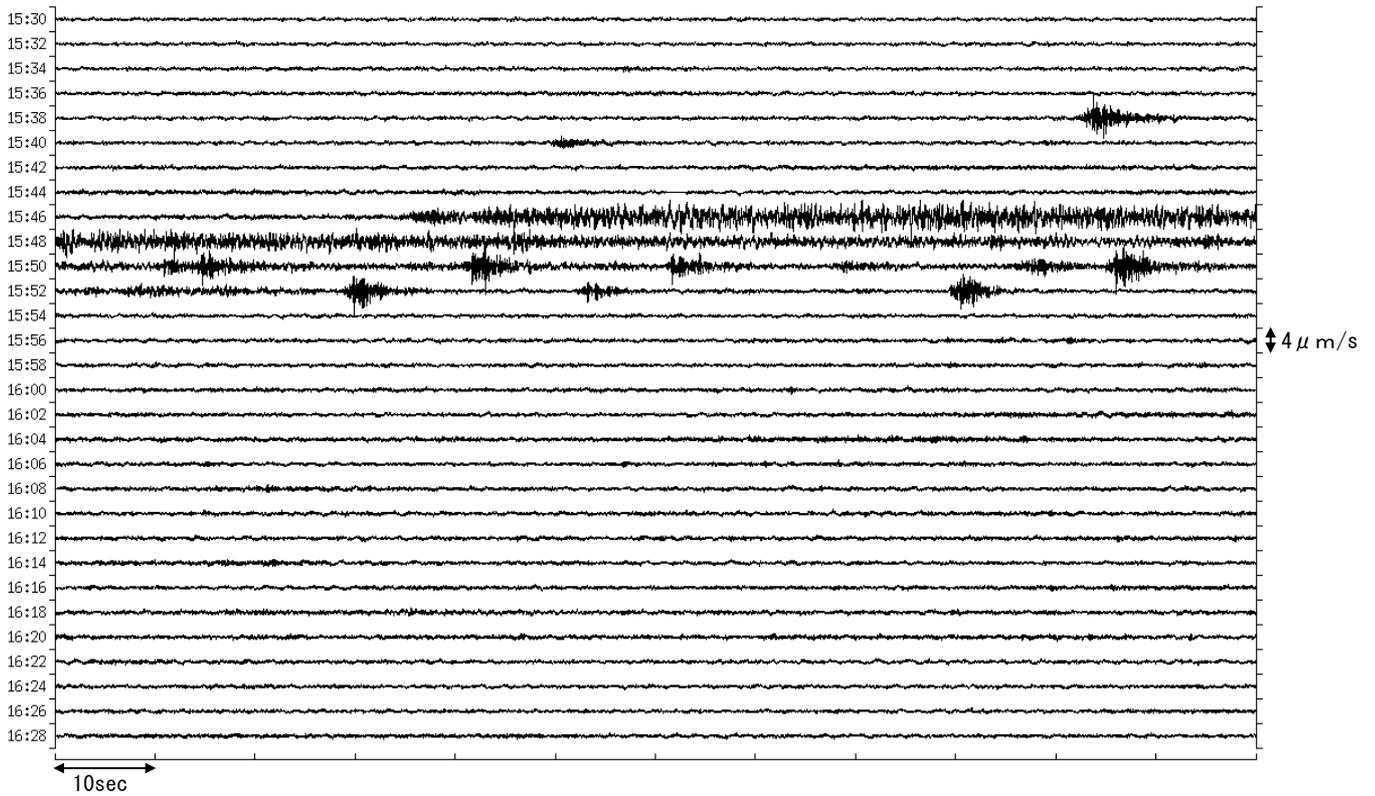


図1 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 10月19日15時46分に発生した火山性微動
（10月19日15時30分～16時30分：韓国岳北東観測点）

火山性微動の継続時間は約3分30秒でした。

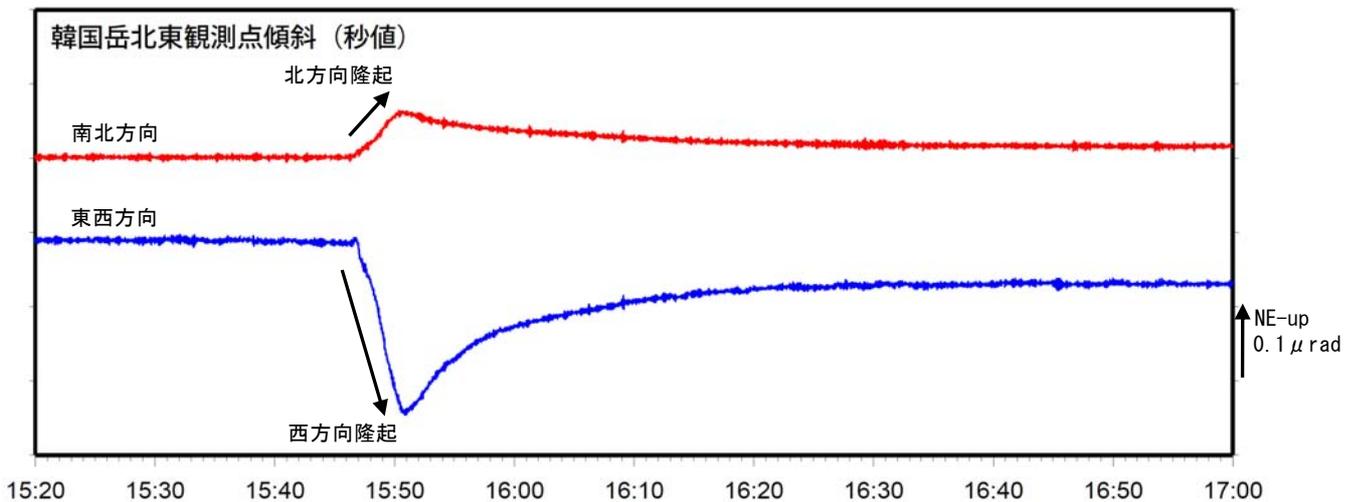


図2 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 火山性微動に伴う傾斜変動
（10月19日15時20分～17時00分：韓国岳北東観測点、秒値）

硫黄山の北西方向がわずかに隆起するような変動が観測されました。

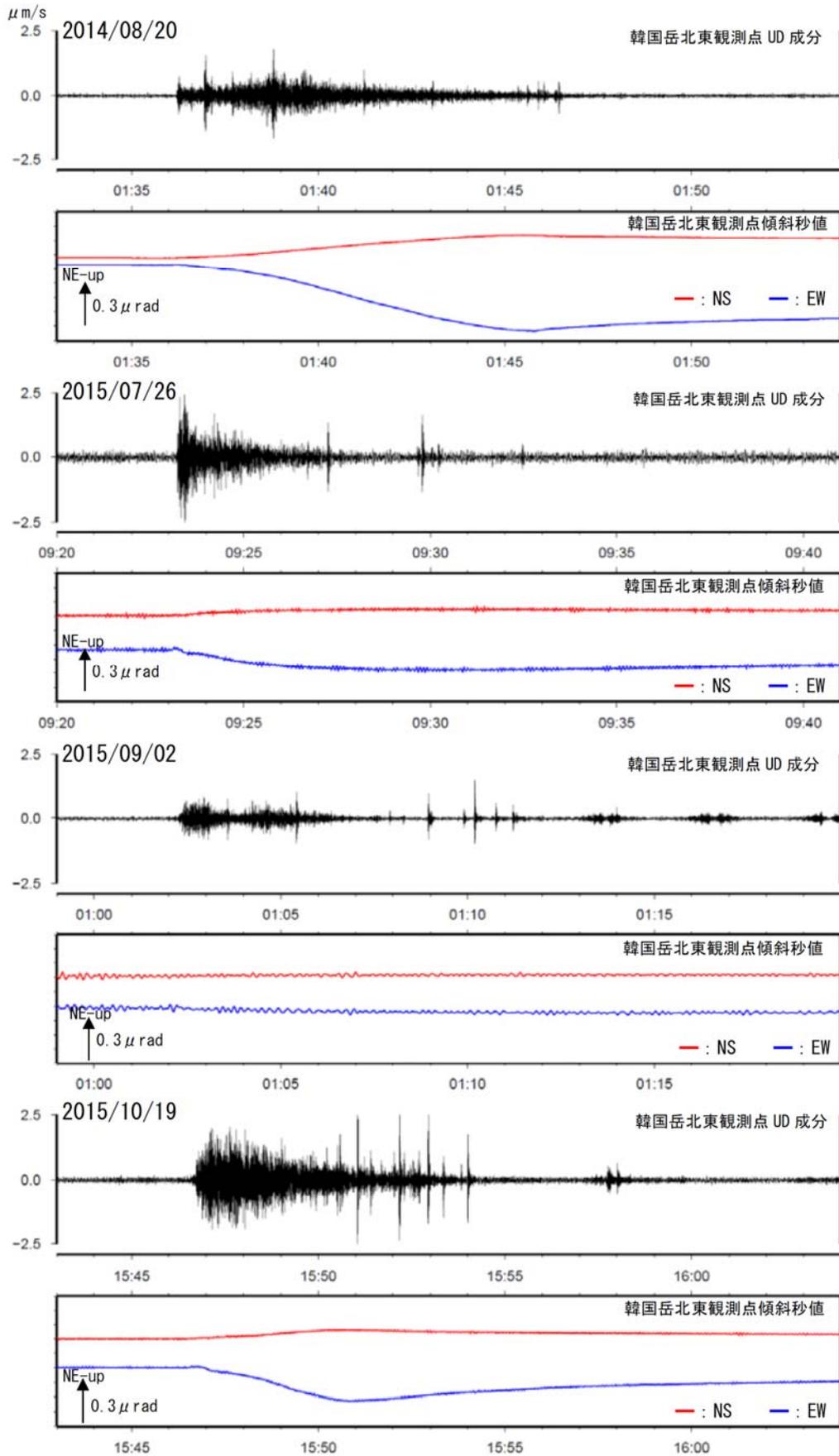


図3 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 2014年8月20日、2015年7月26日、9月2日及び10月19日に発生した火山性微動の震動記録と傾斜記録

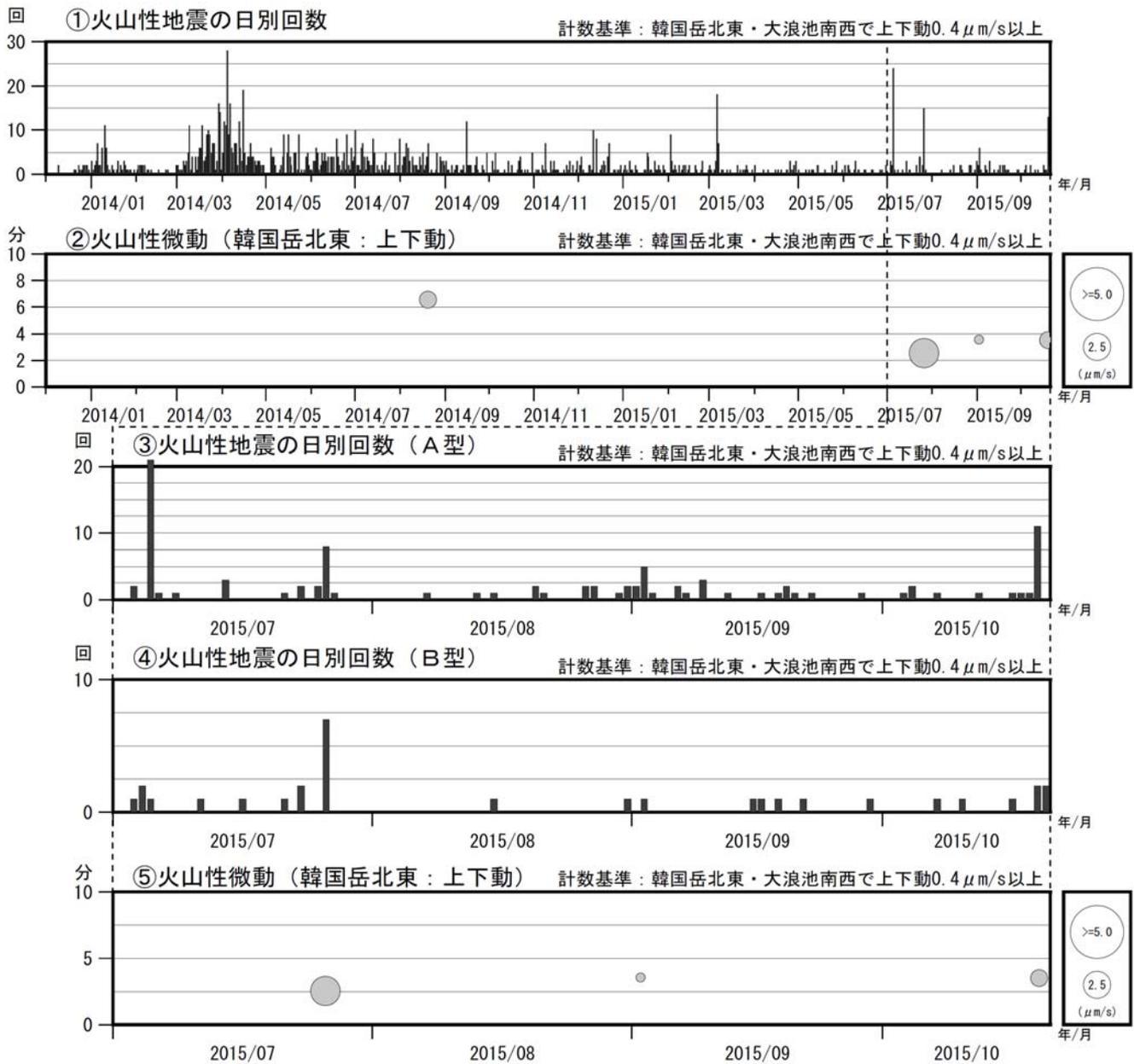


図4 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 火山性地震と微動の発生状況
（2013年12月1日～2015年10月20日12時）

- ・19日15時46分に継続時間が約3分30秒の火山性微動が発生しました。
- ・火山性地震は微動発生後に増加し、19日は13回発生しました。20日は12時までに2回発生しています。

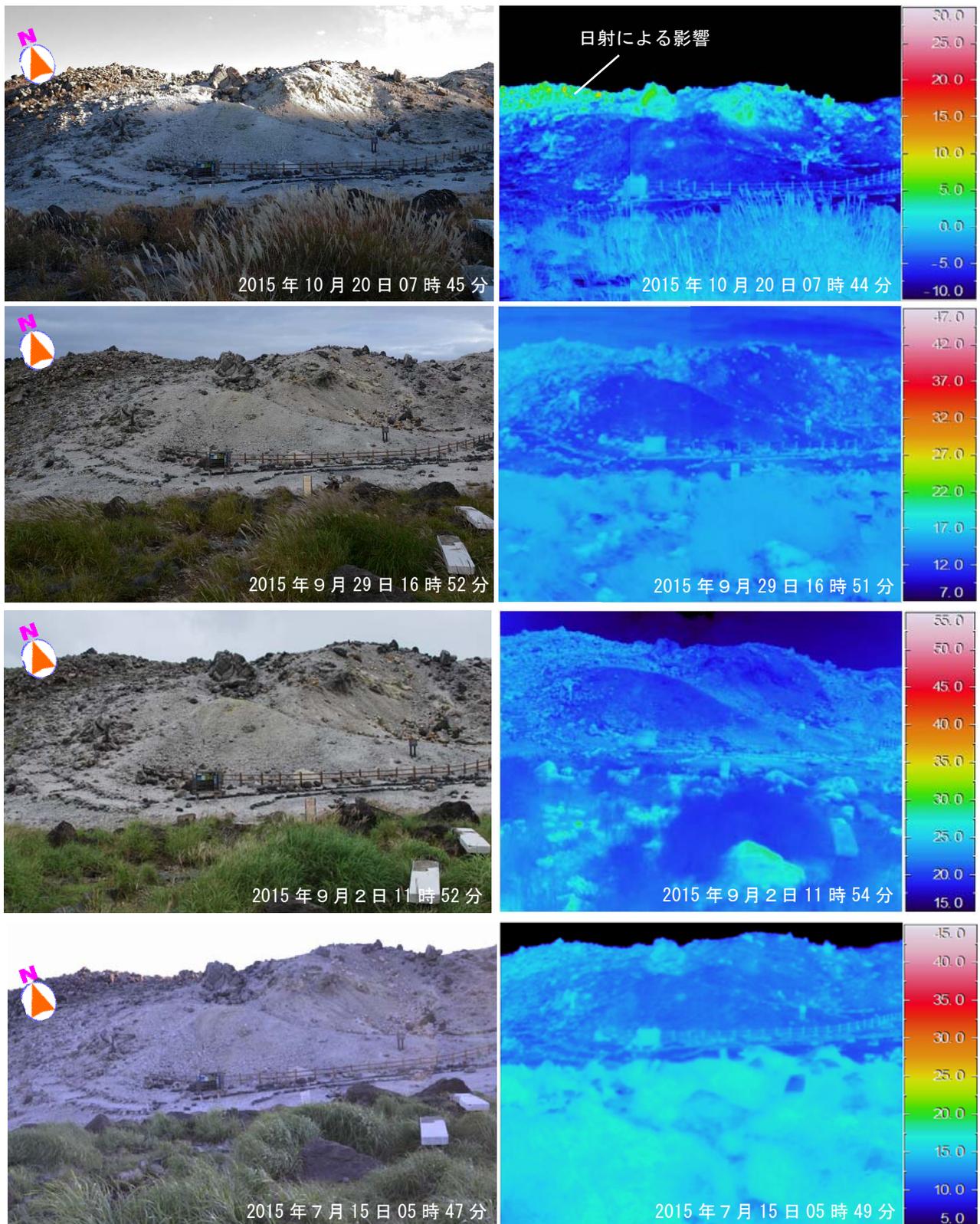


図 5-1 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
硫黄山南西側の状況（左：可視、右：地表面温度分布）
硫黄山周辺では噴気や熱異常域は認められませんでした。

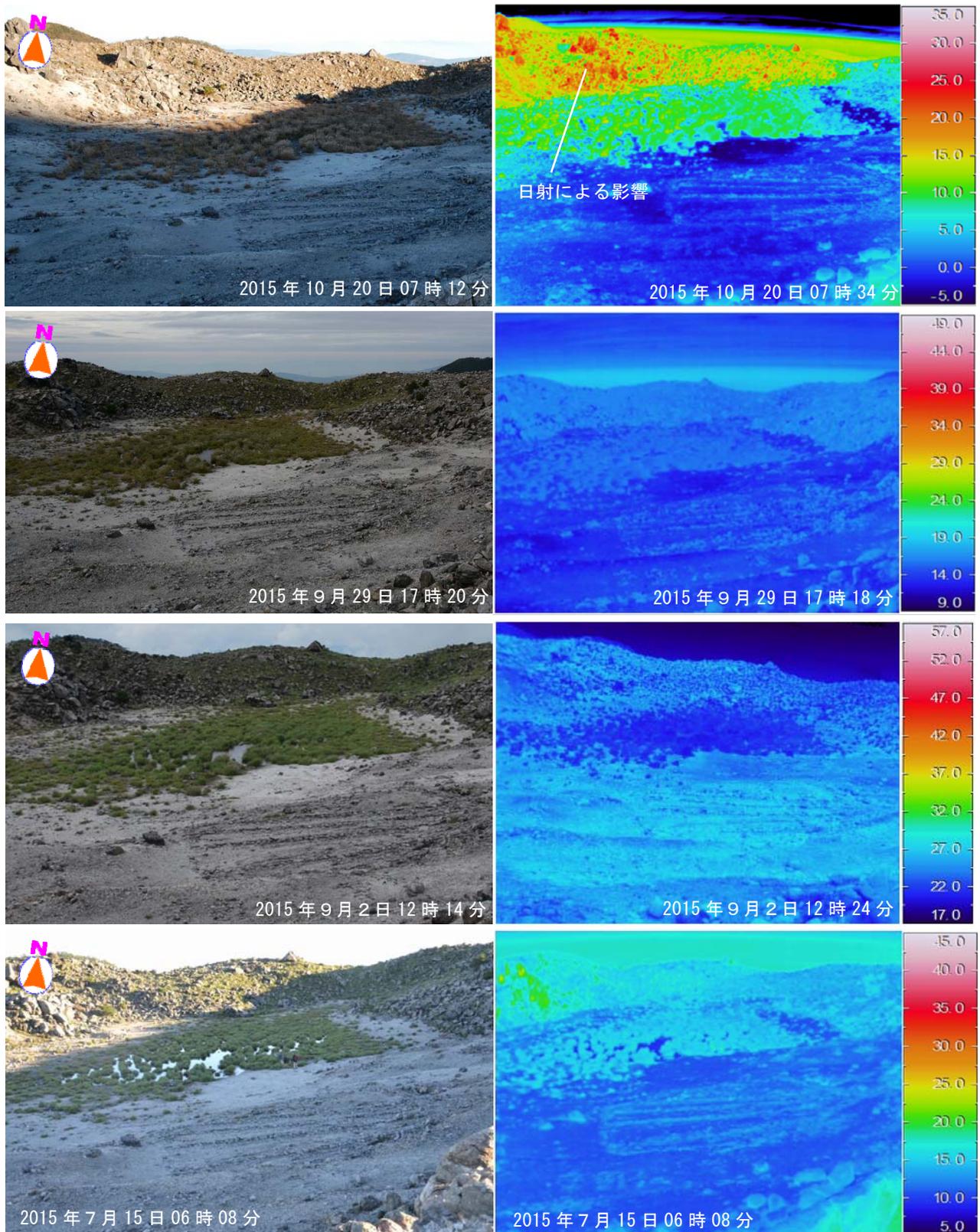


図5-2 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
硫黄山火口内の状況（左：可視、右：地表面温度分布）
硫黄山火口内では噴気や熱異常域は認められませんでした。

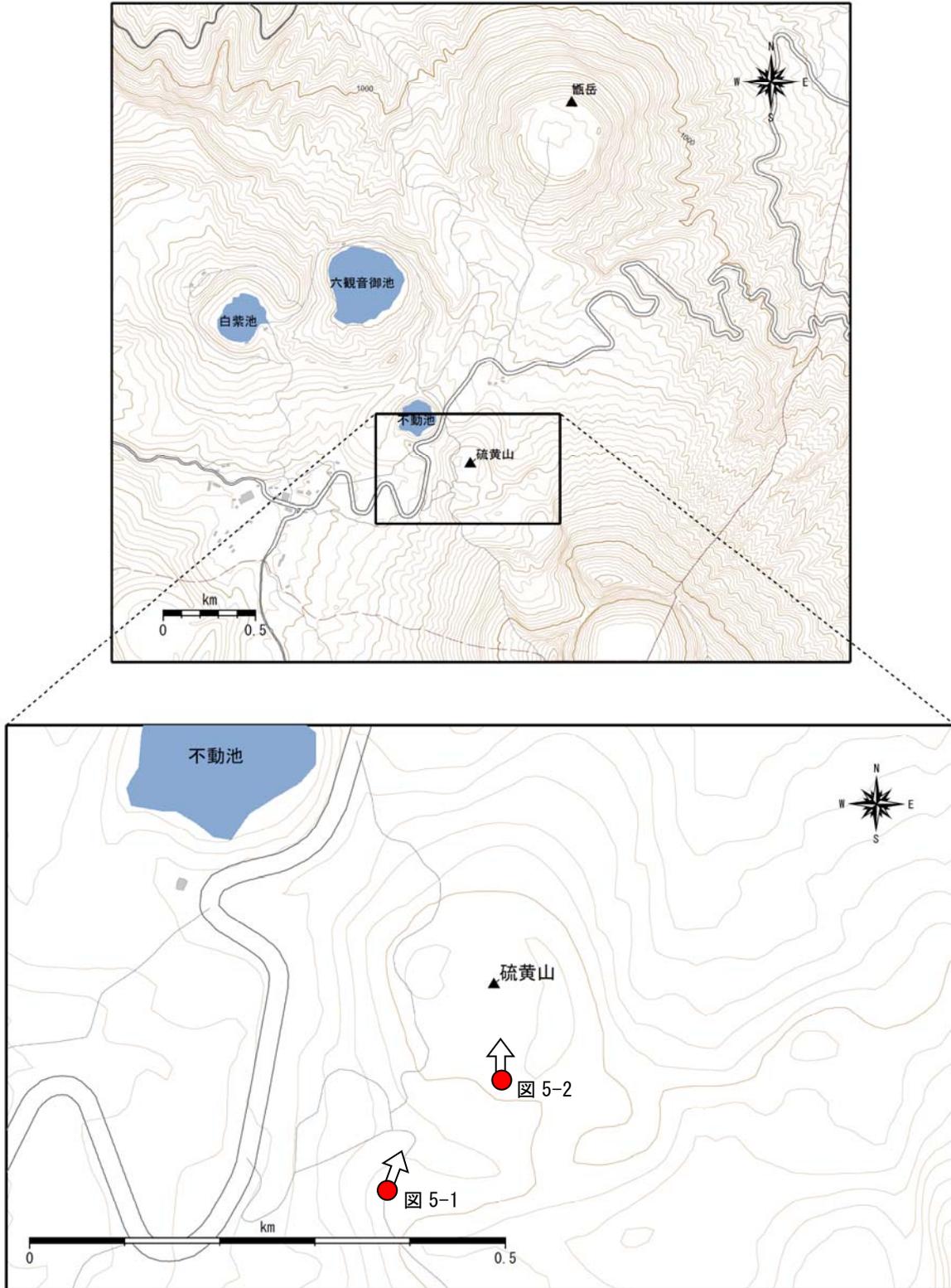


図6 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 図5の撮影位置
（●は撮影位置、矢印は撮影方向を示す）

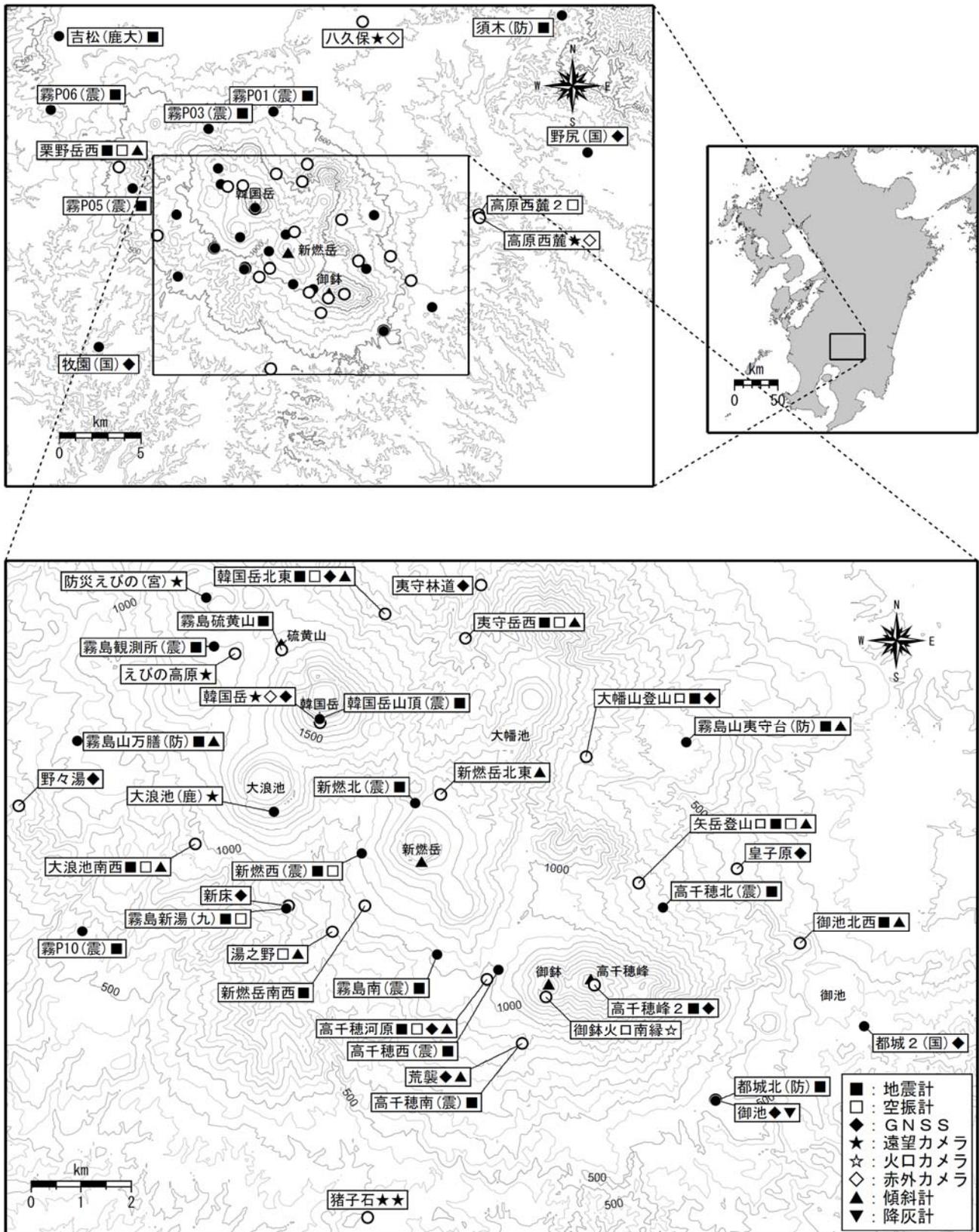


図7 霧島山 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所
 (九)：九州大学、(鹿大)：鹿児島大学、(宮)：宮崎県、(鹿)：鹿児島県